

会 議 録

1 会議名

平成29年度第6回北諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成30年1月23日（火）午後6時30分から午後7時10分

4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 白木朝雄（会長）、水上千恵子（副会長）、池田栄一、金子栄一、
澤海雄一、高橋登志満、松矢茂、宮川敏子（欠席4名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【白木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：金子委員、澤海委員に依頼

議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料No.1 「平成30年度地域活動支援事業案の概要」、

資料No.2「平成30年度地域活動支援事業 北諏訪区の採択方針等について」

に基づき説明

本日は、平成30年度の提案募集に向け、北諏訪区の採択方針等を協議・決定いただきたい。

【白木会長】

平成30年度の採択方針等について、項目ごとに意見を求める。

○採択方針：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○募集期間：資料No.2のとおり、4月2日（月）から5月7日（月）まで

○周知方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

【澤海委員】

周知方法は例年どおりで良いが、各町内会に対して、住民に積極的に周知したり、今までの経緯を説明したりする努力を要請したらどうか。

【白木会長】

私も自町内へ説明したりしているが、一町内だけで提案された事業の成果が広く地域に還元されるのかどうか、ということも提案を考える妨げになっている。

【松矢委員】

町内からの要望には応えられるかもしれないが、地域全体として考えると難しいかもしれない。

【澤海委員】

町内会から出た意見を、町内会長協議会等を通じて話し合いをし、そこから地域のためにみんなで出来るようなことがあるのではないかと。

【白木会長】

町内会長協議会内でも話はしているが、なかなか難しい。

【澤海委員】

そもそも区内には活動している組織が少ない。

【水上副会長】

同じ団体が提案されたり、備品だけを購入する事業も多くなっている傾向にあるので、違うことに使えないかと思っている。

【澤海委員】

地域には地域活動支援事業も知らず、提案団体がどんな活動をされているか分からない

い人もいる。

【池田委員】

広報や地域協議会だよりで周知しても読むだけで、そこに参加しようという人たちは少ないと思っている。

【松矢委員】

地域で活動団体が少ないというのが問題だし、誰が音頭を取って提案するのかと言ったら、やはり地域全体を把握している町内会長協議会から提案を出すのが良いのではないか。

【澤海委員】

一般的にはそれが正論だと思うが、なかなか出てこない。

【白木会長】

では、周知方法については昨年度と同様とするが、何か工夫された周知方法があれば事務局のほうへ連絡していただきたい。

次に「補助率等」についてはどうか。

【松矢委員】

傾斜配分というのはどういうことか。

【荒木係長】

例えば、毎年度継続して提案される事業の場合は、単純に補助希望額に準じて補助するのではなく、実績や現状などから判断して、提案回数によって補助率を設定する。または、提案額の合計が予算（配分額）を上回る場合は、一律に補助希望額に準じて按分し減額して補助する方法もある。

【澤海委員】

今の段階で傾斜配分はなしだが、採択時に傾斜配分を付けて採択することも可能なのか。

【滝澤センター長】

それは可能である。提出いただいた提案書の内容や件数によって傾斜配分を付けるというやり方もある。

【白木会長】

継続事業でも事業内容によって提案金額も変わるので、傾斜配分はなしにしたほうが良いのではないか。

○補助率等：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○審査方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○その他：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

それでは、平成30年度地域活動支援事業の採択方針については、以上のとおり決定とする。

3月15日（木）に開催する事業説明会で事例発表を行っていただく団体だが、候補があればお願いしたい。昨年度は「TMTクラブきたすわ」と「直江津東地域学園運営協議会」だった。

「地域支え合い事業」について、積極的に取り組むということは難しいが、その事業に繋がる活動として、今年度新たに立ち上げた「地域交流応援隊」から発表をしていただき「地域支え合い」が広がってくれば良いことだと思っている。

— 委員からの異論なし —

【澤海委員】

「地域支え合い事業」を地域で担っていくことの問題は、受け皿になる組織をどうしていくかということだと思う。

【白木会長】

受け皿となる組織をきちんと作り、事業を受け継いでいく人たちにも見てすぐに分かるような形にしないと駄目だと思っている。実行しなければいつまで経っても進まない。

それでは、事例発表の団体へは事務局から声掛けをお願いしたい。

以上で平成30年度の採択方針等の協議は終了とする。そのほかに事務局から何かあれば願います。

【荒木係長】

平成30年度の提案募集に向け、より多くの提案が出されるよう委員の皆さんへも事業の周知等の協力をお願いしたところである。

先回の会議では、提案に関しての意見交換がほとんどできなかったが、委員からは、例えば、くるみ家族園の施設など、北諏訪区にある資源を有効活用して活動できないか、という意見が出ていた。

ほかに、補助金をこうした事業に活用できないか、または、事業提案のきっかけとなる地域内の課題でもよろしいので、過去の事例も参考にしながら、意見をいただきたい。

【滝澤センター長】

3月に地域活動フォーラムを開催する予定だが、市としては、地域活動フォーラムを皮切りに、3月を地域活動支援事業の相談受付期間と考えているので、北諏訪区にとって良い提案が挙げればと思っている。

町内会長協議会で課題が出てくれば地域全体で話し合っていくこともできるが、提案の内容については、どなたでも相談に来ていただければ対応させていただく。

【白木会長】

北諏訪区の地域活性化のために、より多くの提案が出されるよう、提案につながるような地域の課題や、委員自身他から聞いている提案、または委員自身が考えられている提案がありましたら、ご意見または情報提供でもよろしいので、意見等をお願いしたい。

1点伺いたいですが、福橋下真砂にAEDは設置されていたか。

【高橋委員】

設置されている。

【白木会長】

以前、町内会長協議会で当補助金を活用しAEDを購入したが、この度バッテリーやパッドを交換したいという意見があった。ほかの地域でもそのような話があるのではないかな。

【澤海委員】

地域活動支援事業とは話が違うかもしれないが、当公民館の駐車場はとても狭い。当補助金を活用してこの課題を解決することは難しいと思うが、地域協議会から教育委員会へ要望したり、町内会長協議会から提案して要望したりできないか。

【白木会長】

地域協議会として要望を出すのは難しいと思うので、町内会長協議会から出したほうが良い。

【松矢委員】

団体の会議等で集まるとなると駐車場スペースが足りなくなる。

【池田委員】

近くにごみ置き場がある。私有地だと思うがその場所は、借りられないものか。

【澤海委員】

例えば、市が土地購入できなくても、近くの私有地を借りることができれば良いので

はないか。

このような話を町内会長協議会から教育委員会等へ要望を出すにしても、地域協議会でも話し合いをしておけば良いのではないか。

【白木会長】

では次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：2月28日（水）

【白木会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：2月28日（水）午後6時30分から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。